

吉野川みずべ情報誌

# 川活

KA WA KA TSU

吉野川のダムとウォータースポーツ

インタビュー

ラフティング (THE RIVER FACE) キャプテン 水澤 知香 さん  
カヌー (高知県カヌー協会 福島 崇年 さん)

No.1  
2017.8

国土交通省 四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所  
独立行政法人 水資源機構 池田 総合 管理所

# 吉野川のダムとウオータースポーツ



おおほけきょうこほけきょう  
大歩危峡・小歩危峡でのラフティングツアー



四国の発展を祈念して建立した記念碑(早明浦ダム)



早明浦ダムの下流域で盛んなカヌー

## 吉野川は四国のいのち

四国の気象は、四国山脈を挟んで南北で大きく異なります。太平洋側では全国的にも最も雨がが多い地域のひとつであるのに対し、瀬戸内側では雨が極めて少なくなっています。そこで、戦後から「四国はひとつ」という理念のもと、四国地方の発展のため、吉野川流域での洪水被害を軽減するとともに、吉野川の水を発電や水利用に有効に活用するための事業を進め、現在に至っています。

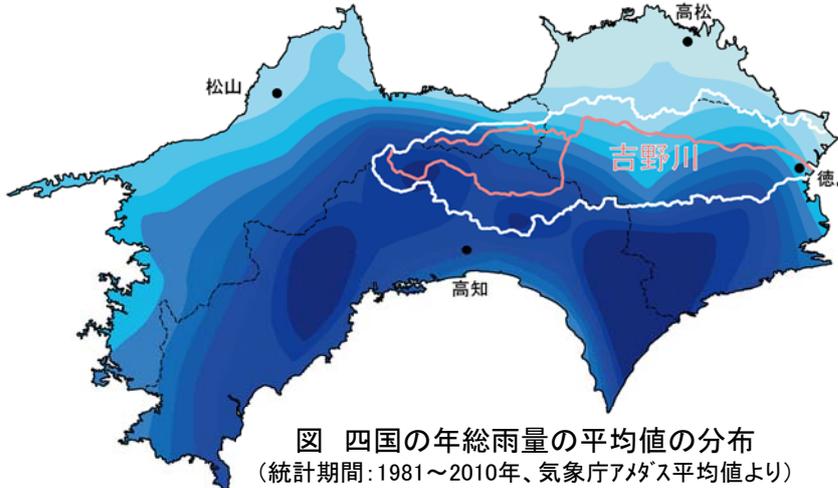


図 四国の年総雨量の平均値の分布  
(統計期間: 1981~2010年、気象庁アメダス平均値より)

## ダムを管理する仕事

国土交通省四国地方整備局吉野川ダム統合管理事務所と独立行政法人水資源機構池田総合管理所は、吉野川水系にある早明浦ダム、池田ダム、富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダムの5ダムを管理するとともに、各ダムの放流量や貯水位、河川の水位などの情報をリアルタイムで発信しています。

洪水の時には、ダムに流れ込む水量の一部を貯め、下流に流れる水量を低減させ、洪水時の浸水被害の防止又は少しでも軽減できるようなダムを操作しています。また、日々のダム管理では、降雨や水の需要状況に応じ、ダムに貯めた水を四国4県に供給しています。これにより、徳島県や高知県のみならず、恒常的な水不足に悩まされてきた香川県や愛媛県の瀬戸内側でも、安定した水利用が可能になっています。香川県では、香川用水から県内のほぼ全域に供給され、吉野川の水が「うどん県」を支えています。愛媛県へは銅山川から分水され、四国中央市の製紙業などの産業や人々の生活を支えています。このようにダム管理を通じて、吉野川の水を、効率的に活用し、四国の活性化に役立っています。

# 吉野川の ウォータースポーツ

近年、吉野川に流れる豊富な水量を利用して、上流域ではカヌーやラフティングなどのウォータースポーツが活発になっています。

吉野川では、早明浦ダム下流の高知県長岡郡本山町を中心に、カヌーの練習や体験に多くの方が訪れています。また、今年の9月には、本山町寺家にて、第73回えひめ国体のカヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)が開催されます。

吉野川でのラフティングは、日本一の激流として有名であり、毎年、全国各地から多くの方が体験に訪れています。また、今年10月には、日本で初めてラフティングの世界大会が開催されます。

これらは、早明浦ダムから水を供給することにより、豊富できれいな水が安定して流れること、そしてその水量が競技の開催に適していることで、ウォータースポーツの適地としての認知に繋がった結果だと考えています。また、池田ダム湖や早明浦ダム湖についても、その広大さや水質が評価され、ウエイクボードやカヌー(スプリント)の聖地になりつつあります。

今回は、カヌーとラフティングで活躍のお二人に、吉野川の魅力などについてお話を伺いました。

柳瀬ダム



新宮ダム



池田ダム



富郷ダム



早明浦ダム



# ラフティング 日本一の激流で世界の頂点へ



吉野川でスラローム競技の練習するザ・リバーフェイスの皆さん  
(スラローム:設置したゲートを順に通過してタイムを競う競技)

## この方に聞きました



ザ・リバーフェイス  
THE RIVER FACE  
みずさわ ちか  
キャプテン 水澤 知香 さん

ザ・リバーフェイス  
THE RIVER FACE は、吉野川を拠点に活動している女子ラフティングチーム。世界大会で数多くの表彰実績あり。現在のメンバーは8名。栃木県出身の水澤さんを含め、うち7名は四国4県以外の出身者で構成。三好市や大豊町に在住し、リバーガイドなどの仕事をしながら日々練習に取り組んでいる。

## ラフティングを本格的に始めたきっかけ

私は、大学に入学して、探検部でラフティングや山登り、筏で川下りなどをしていました。探検部メンバーでチームを作って、日本国内のレースなどにも参加していました。新潟県の大学でしたが、吉野川には大学1年生の夏休みの時にラフティングで来ました。その時は、ラフティングで四国の三好市に移住することになるとは思ってもいませんでした。

卒業後は、関東で営業職や、アウトドアメーカーで勤務をしていましたが、ある時、「ザ・リバーフェイス」が2011年のコストリカの世界大会に向けてのメンバーを募集していることを知りました。2010年のオランダ大会で総合優勝を果たしているこのチームに入り、世界一を目指したいと思いました。

## 吉野川でのラフティングの魅力

まず、吉野川はきれいだなと感じます。世界大会では色々な川で競技をしますが、ものすごい濁流の中で開催されることもあります。山の上をものすごく登ってから川を下るところもありましたが、増水して危険を感じることもありました。吉野川は、日本一の激流と言われていますが、激しい流れのあとにゆったりとした流れもあり、ボートがひっくり返ってしまうことがあっても楽しめる川です。

ベストシーズンの夏場に、水量が減る川が多いのですが、吉野川では夏にダムから放流してくれるので、水量もあり、ベストコンディションで楽しめます。ゴールデンウィーク頃の新緑から秋の美しい紅葉まで、ラフト(ボート)からしか見られない景色も魅力です。



吉野川の魅力を語る水澤さん



池田ダム湖での練習の様子

## ラフティング 世界選手権2017

今秋、日本で初めて、ラフティングの世界選手権が吉野川で開催されます。

**競技日程：平成29年10月3日(火)  
～10月9日(祝・月)**

**開催地：吉野川中流域  
(徳島県三好市山城町)  
(高知県長岡郡大豊町)**

吉野川を舞台に、世界各国の強豪チームが激流をいかに速く正確に下れるかを競い合います。世界レベルの戦いを見ることが出来るチャンスです。(開催種目は裏表紙を参照)



- 競技会場周辺への車の直接乗り入れはできません。
- 大会期間中、観戦用の無料シャトルバスが運行されます。
- バス発着場へのアクセスなどは、ラフティング世界選手権2017公式Webサイトにてご確認ください。

ラフティング  
世界選手権2017  
公式Webサイト



## ちょっとよみち

おおほけきょう  
大歩危峡にお出かけの際は、「道の駅 大歩危」に立ち寄ってはいかがでしょうか。地元名産品のほか石の博物館や妖怪屋敷などもあります。

近くの藤川谷に行くとき「こなきじい(児啼爺)」などの妖怪の碑もあります。



道の駅 大歩危

左:「こなきじい」の碑

## ダムとの関わり

週6回早朝練習をメンバーで行って、池田ダム湖と小歩危のあたりなど、日によって場所を変えて練習しています。夏場は川での練習が増えますが、冬場は池田ダム湖で練習する日が多いです。

あとは、練習はもちろん、リバーガイドもしているので、毎朝、水源機構のホームページをチェックしています。ダムからの放流量や河川の水位など川の情報を確認すれば、その時の川の流れが想像できます。

## ダム湖で練習する理由

川が増水し危険な時でも、ダム湖なら練習ができます。ダウンリバーという川を長時間(45分～60分程度)漕ぎ続け、川を下る競技があります。ダム湖だと、競技と同じ時

間を漕ぎ続ける練習や、時間をコントロールして30分を何本という練習もできます。全国的に見ても、激流と静かな広い水面が狭い範囲にあり、水量も安定していて、1年を通じて練習できる吉野川のような川はなかなかないので貴重です。

## 誰でも気軽に楽しめるラフティング

吉野川にはいくつものツアー会社があるので、そこで申込みができます。家族連れなら比較的穏やかな流れを下るファミリーコースもあります。お子さんは、小学生以上なら参加でき、激流を下る一般コースも中学生以上なら参加できます。70代の方も参加されていますし、ガイドが安全に案内していますので、初めての方でも十分に楽しめます。

## 世界選手権に向けて

世界選手権の招致から始まり、主催者や実行委員会など、大会を成功させようと、多くの方々関わってくださっています。他の世界大会に参加する時にも「いつてらっしゃい」とたくさん応援していただけてきました。目の前で実際に見てもらえる機会がありませんでした。地元の方々に世界トップレベルのラフティングを見ていただける機会になるのがうれしいです。

ラフティングを地元で体験されている方が少ないので、この大会を機に、多くの方々にラフティングに親しみを感じていただけて、競技人口が増えることも期待しています。皆さんが盛り上げて応援してくださる目の前で、世界一を獲れるようメンバー一同頑張ります。

# カヌー

自然の力を実感できる



高知県長岡郡本山町寺家で平成29年6月に行われた、第30回カヌースラローム・ワイルドウォーター四国選手権大会兼愛顔つなぐえひめ国体カヌー競技リハーサル大会での福島さん。

## この方に聞きました



高知県カヌー協会  
福島 崇年 さん

嶺北高校時代からカヌー部に所属。20歳のころから本格的にカヌーを始め、これまで計13回、国体カヌー競技に出場。今年の秋に開催される第73回えひめ国体カヌー競技（スラローム）にも出場。

### カヌーとの出会い

私は本山町で生まれ育ち、幼いころから、遊び場は地元の汗見川でした。川が大好きで、春になったらすぐ近くの汗見川で魚を獲って、夏も秋も川で泳いで・・・という感じで、川は生活の一部でした。

そんな少年時代の中学生の時に汗見川でカヌーを体験したことが始まりでした。その後、嶺北高校に入學し、球技系よりもカヌーに惹かれ、迷わずカヌー部に入部しました。また、20歳の頃、高知国体の開催に向けた強化選手に選ばれたこともあって、より一層真剣にカヌーに取り組むようになりました。

### カヌー競技の魅力（スラローム）

スラロームは、激流のなかで設置

されたゲートを通過してタイムを競う種目です。そのコースのデザインでも毎回難易度は異なります。どんなコースになるのかは前日にならないと分かりません。

スラロームの魅力は、「自然の力（川の流れ）を読み取って、それをいかに活かせるか」を自分で考えるところ。自然の力を実感できます。また、激しい流れに入っていく時は気持ちいいですね。自然の中のスポーツなので、なかなか思い通りにいくことは少ないですが、次々と目標ができるからこそ、「もつと上手くなりたい」と思えます。

全国の川でカヌーをする中で、トップクラスの選手の方々からもアドバイスをたくさんいただき、多くの仲間もできました。そして、何よ



上: 早明浦ダムからの放流量が少ない時



右: 早明浦ダムからの放流量が多い時



えひめ国体のカヌー競技の会場になっている高知県長岡郡本山町寺家  
(大豊ICから国道439号を経由し車で約20~30分)

## 吉野川でのカヌーの魅力

吉野川は、水量が圧倒的に多くて、流速も速く、カヌーに最適な川

りカヌーを通じて妻に会うことができました(奥様の晴香さんもカヌースラロームをされており、今年のエひめ国体には夫婦で出場)。

## 第73回国民体育大会 愛顔つなぐえひめ国体

早明浦ダムの下流で、えひめ国体カヌー競技(スラローム、ワイルドウォーター)が開催されます。

競技日程: 平成29年9月9日(土) ~ 9月12日(火)

開催地: 寺家カヌー競技場  
(高知県長岡郡本山町寺家)

競技中は早明浦ダムからの放流が、競技に適した流れを生み出します。



えひめ国体  
カヌー競技  
Webサイト



## ちょっとよみち

本山町に来られた際には、産直「本山さくら市」にも、立ち寄りてはいかがでしょう。地元で採れた棚田米「天空の郷」を使ったソフトクリームなどもあります。



本山さくら市

米粉入りのパン

棚田米入りソフトクリーム

※カヌー種目の説明は裏表紙を参照

さらに、吉野川は緩やかな流れから激流までバリエーションに富んでいるので、たった数キロの範囲でスラローム、ワイルドウォーター、スプリント、フリースタイルといったカヌーの様々な種目※を行うことができます。これも吉野川の魅力です。

また、水がきれいなことも魅力の一つです。私自身、カヌーの大会や練習で全国の川に行っていますが、吉野川はすぐくきれいで水が澄んでいと思います。他県のカヌー仲間も「この川はいつもきれい」と言ってくれます。

## ダムの放流量の確認

何時から何時まで早明浦ダムの水がどれだけ放流されるかなど、いつも情報を確認しています。毎秒40トン以上の放流がある時には、寺家(右上写真)の流れでスラロームの技術的な練習を、放流量が少ない時には、水深のある場所でカヌーを漕ぎ、体力をつけるトレーニングをしています。

## カヌーの体験方法

本山町には、カヌークラブもありカヌーを始めやすい環境が整っています。高知県カヌー協会では、カヌー教室や、カヌー体験などについて案内しています。気軽に問合せをしていただければと思います(担当: 柿本 0887-761277)。

大人だけでなく、小学生、中学生も保護者同伴で参加できます。

## 読者の方へのメッセージ

私は、本山町で生まれ育ったからこそ、カヌーに出会え、多くの仲間ができました。カヌーは生涯続けていきたいです。

全国のトップ選手と話をしていると、小学生の頃から始めている方が多いです。カヌーに興味を持たれた方には、是非とも早くから始めてもらい、吉野川という素晴らしい環境の中で、全国で活躍する選手になつて欲しいです。

## えひめ国体への意気込み

地元の皆さんが応援してくれる中で、自分らしい漕ぎを見てもらえるように頑張ります。激しい流れの中でカヌーをスムーズに操る様子を見てください。

是非、応援に来てください。

# 早明浦ダムの紹介



所在地	高知県土佐郡土佐町田井と高知県長岡郡本山町吉野にまたがり、吉野川の河口から約130kmの場所にあります。
大きさ	総貯水容量:3億1,600万m <sup>3</sup> (全国9位、四国1位) 堤高:106m 堤頂長:400m
完成年	1975(昭和50)年3月
目的	洪水調節/流水の正常な機能の維持/ 農業・水道・工業用水/発電 大雨による洪水災害を軽減させるために、雨を一時的に貯めています。貯めた水は農業・水道・工業用水等として四国4県で使用されています。また、放流水を利用して発電も行っています。
ダムカード配布場所	独立行政法人水資源機構 早明浦ダム・高知分水管理所 (住所):高知県土佐郡土佐町田井6591-5 (TEL)0887-82-0485 配布時間:8:30~17:00(土・日・祝日含む) 休日は管理所玄関のインターホンを押してください。



## ラフティングの競技種目

- ★**ダウンリバー** : 5キロメートル以上の長距離コースで、激流下りのタイムを競います。
- ★**スプリント** : 500メートル以内の短距離レースです。
- ★**H 2 H** : 500メートル以内の短距離レースを2艇同時スタートのトーナメント方式で競います。  
ヘッド トロー ヘッド
- ★**スラローム** : 設置されたゲートを通過するタイムを競います。ゲートの不通過や接触は減点になります。
- 総合順位** : 各種目での順位のほか、4種目の総合獲得ポイントで総合順位が決定します。
- ★は、「ラフティング世界選手権2017」競技種目です。

## カヌーの競技種目

- ★**スラローム** : 変化に富んだ川のの流れの中で行う競技で、ゲートを通過するタイムを競います。ゲートの不通過や接触は減点になります。
- ★**ワイルドウォーター** : 激しい流れを一気に下る競技で、1,500mとスプリントの2種目あります。
- ★**スプリント** : 流れのない水面で一定の距離(500mと200m)での着順を争います。
- フリースタイル** : 45秒間に、決められた激流スポットでカヌーを水車のように回転させたり、時には空中で回転させたりする競技です。
- ★は、「第73回愛顔つなぐえひめ国体」の競技種目のうち、早明浦ダム下流(本山町寺家)で開催される種目です。(☆は愛媛県で開催されます。)

.....吉野川みずべ情報誌「川活」の創刊にあたって.....

吉野川は、日常生活や産業のための水供給、水力発電等の面で、四国4県を支える大きな力となっています。情報誌「川活」は、レジャー、産業、文化、歴史、また川で活躍する方たちを紹介し、水源地域を含む吉野川流域の活性化の一助になるよう発行するものです。

皆様からも、ダムや川に関連する活発なご意見をお寄せいただければ幸いです。

[発行] 国土交通省 四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所  
TEL 0883-72-3000 FAX 0883-76-0301

独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所  
TEL 0883-72-2050 FAX 0883-72-6376



吉野川ダム統合管理事務所  
ホームページ  
<http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/>



池田総合管理所  
ホームページ  
<http://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/>

[住所] 〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻4235-1 (1~2F 吉野川ダム統合管理事務所・3F 池田総合管理所)

表紙の写真: 早明浦ダム下流で開催された「第30回カヌー四国選手権大会兼愛顔つなぐえひめ国体カヌー競技リハーサル大会」でのワイルドウォーター(1,500m)の公開練習の様子。平成29年6月9日撮影。